



田野病院を宮崎大学が運営します

4月1日から宮崎市立田野病院と介護老人保健施設「さざんか苑」の運営を宮崎大学が行うことになりました。国公立大学法人が指定管理者として公立病院を運営するのは全国初です。引き続き、地域に根ざした医療と介護の提供を行うことに加え、豊富な人材とノウハウのある宮崎大学と連携することにより、地域医療のさらなる充実が期待されます。

市内2か所に津波避難タワーが完成

佐土原町二ツ立地区と郡司分蛸原地区に津波避難タワーが完成しました。津波からの一時避難所としての機能はもちろん、この施設を活用した避難訓練などによって、地域の防災力向上が期待されます。市では、九州で初めて「津波防災地域づくり推進計画」を策定しており、今後も私たちの命を守るため、地域や関係機関と連携を図りながら、避難施設などの整備を進めていきます。



Miyazaki Topics

宮崎市旬の話題 “みやとピ”

まちの案内所よってンプラザが新しくなりました

市中心部で商店街の情報などを発信している「よってンプラザ」の移転に伴い、4月4日に開所式典を行いました。場所はこれまでと同じ若草通り内ですが、5倍ほど広くなったほか、プラレールなどを設置したちびっこ広場もあり、子どもたちののびのびと遊ぶことができるようになりました。まちなかの活性化につなげるため、今後も、より情報発信に力を入れていきます。



コロトウ 葫芦島市訪問団が宮崎市へ

4月24日、友好都市である中華人民共和国葫芦島市から柴力君副市長をはじめとした訪問団が宮崎市を訪れ、市長表敬を行いました。表敬後、訪問団は市役所前の橘公園にある、葫芦島市など海外姉妹(友好)都市のマークがしるされたシンボルベンチを視察。お互いのさらなる交流を約束しました。

↓ 昭和39年6月号が電子書籍で読める!



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。

今回の旅行先 昭和39年

「腰のぼし体操」って?

今月号からスタートした「みやざき時間旅行」。今回発掘するのは、昭和39年6月号に掲載された「腰のぼし体操」です。「ちょっとした用事でも車の時代、それにツユにとじこめられ運動不足になりがちなこのごろ」という記事は現代にも通じます。当時の記事で職員が挑戦したように、現在の文化スポーツ課の職員に実際に挑戦してもらいました!



昭和24年から続く市広報みやざきが電子書籍で閲覧できる「宮崎市アーカイブス」。ここでは、時代を感じさせる過去の面白い記事を発掘します!

まず窓を開けましょう。

5

腹の運動

手を腰にあて、一二三四で腹を思い切り出す。

4

胸の運動

足を広げ手を後ろで組み、背をなでるように手を上げて一二三四で胸をぐっと張る。

3

肩の上げ下げ

胸を張ったまま手の力を抜いて、肩を一で上げ、二で下ろす(×8回)。

2

肩たたき

右拳で左肩を8回たたき、左拳で右肩を8回たたき。

1

背伸び

手をまっすぐ上げ、一二三四で思い切り背を伸ばす(×2回)。

体操して、確かに腰が伸びた!と感じました。ぜひ皆さんも空き時間などにやってみてください。



文化スポーツ課 主任 石井 智久

昭和39年って?

記事を読むと、昭和39年はすでに車社会で運動不足という時代だったことに驚きます。また、当時の保健体育課が体操で気分転換しようと呼び掛けていますが、日本全体が高度経済成長期に入り、宮崎でもストレス社会に突入しているといった時代背景があったのかもしれない。

8

膝の曲げ伸ばし

手を膝に置いて、一二でかがみ三四で膝を伸ばす。最後に深呼吸をして終了。

7

腰たたき

体を軽く曲げ、拳で交互に腰をたたき。

6

体の捻転

手と体を左から後ろへねじり右に回して八呼間で前へ。次に右から。

地名むかしむかし 2015 ① 「あおしま」

昭和35年4月号から1年間連載されていた「地名むかしむかし」。市内のいろいろな地名の由来を当時の文章のままお届けします。

昭和35年5月号より



当時の記事では、青島を「観光宮崎のドル箱、年間約50万人が訪れる青島」と紹介しています。

古くは加茂豆つくた。これは島のほとりに鴨が幾千羽も浮遊したから名付けられたもので鳥集島とも書いた。「中略」また、伊東三位入道義祐の餓肥紀行には「うす霧のたえまを見れば秋風に残る梢や青島の松」とあって青島の名もなかなか古いことが知られる。これは青々と枇杷の茂る景観から名付けられたのであろう。

ところがこの島を「淡島」と書いているものがある。そして青島神社を「淡島明神」と書いている。「中略」文政七年の春、一大震動とともに島の上天に瑞雲がたなびき、その上に神女の像が現れ、朝日に照り映えてその美しさはたとえようもなくやがて海中に降られたという。それからこの島に古くから祀られていた神社(彦火々出見尊、豊玉姫、塩土老翁を祭る)に淡島様の信仰が附随したのであろう。青島と淡島との発音の類似も手伝ったかもしれない。